

中学部2年 「ポスターを作ろう」 (作業学習)

取組の理由 城東ワークス'23での展示に向けて、日頃、生徒自身に取り組んでいる活動について、自由な発想で紹介できるとよいと考えた。

使用端末 GIGAスクール端末

ツール、アプリ Keynote、タッチペン、プロジェクター、写真

取組内容 外部専門員とともに授業を行い、keynoteの使い方を教わりながら作業班紹介ポスターを作成した。

【作品の例】



前半：①スライドサイズの変更 ②写真の挿入
③テキストの挿入・サイズや色の変更
④図形の挿入・色の変更 ⑤背景の色の
変更 ⑥ファイル名の変更

後半：⑦図形（吹き出し）の挿入・テキストの
入力 ⑧図形の回転方法 ⑨Apple Pencil
で描画 ⑩生徒によるポスターのプレゼン
と鑑賞



中学部2年 「ポスターを作ろう」 (作業学習)

授業後の児童・生徒の様子や変化

様子

- ・色使いにこだわったり、図形やオリジナルキャラクターを取り込んだり、Apple Pencilで模様などを描いたりしながら、ポスター作成を楽しんでいた。
- ・背景の色使いでグラデーションを楽しむ生徒が多く、自由な表現を楽しんでいた。
- ・美術の絵画では、絵の具の色使いに悩む生徒もkeynoteでは色選びに迷うことなく、Apple Pencilによる着色を主体的に楽しんでいた。
- ・日常の中で、利用を希望したり、学習で利用する機会が増えた。

変化

ICT機器を使って
みて

◎：よかったところ
△：課題、問題点等

◎生徒の自由な発想や表現を引き出しやすい。
◎TRY & resetの機能を活用することで、チャレンジへのハードルが下がり、何度も試行錯誤する中で、創造されるものが生徒のイメージにより近づいたものになった。

△keynoteを使いこなすには操作が複雑で、教員も操作を習得して慣れる必要がある。
△生徒の自由な表現や発想を引き出しやすい反面、生徒がねらいやテーマを理解して作成する難しさがある。
△様々な情報や機能がある一方、どのように授業の中に生かしていくのか、何を取捨選択していくのかが課題であり、実践の蓄積が必要である。